

令和3年度 指定管理者制度モニタリング評価表

令和4年3月31日現在 (B)

1. 施設概要

施設名	尼崎城址公園 (尼崎市北城内27)		
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・尼崎城天守、一般園地、駐車場の施設運営及び施設維持管理業務 ・ショップ運営、イベント実施等の賑わい創出事業 		
指定管理者名	尼崎城址公園管理運営企業体	指定期間	H31. 3. 29～R5. 3. 31
施設所管課	経済環境局 観光振興課	所属長名	海老原 美咲

2. 目標・指標

施設の設置目的	老若男女問わず歴史・文化を楽しく学び、市民のシビックプライドを醸成・賑わいの創出を図るための施設					
施設のありたい姿	市民のシビックプライドの醸成、来訪者の増加による賑わいの創出					
指標	尼崎城有料入城者数 (千人)					
目標	令和2年度から各年105千人の目標であったが、コロナの影響により令和3年度に引き続き、令和4年度も85千人	R1 (H31)	R2	R3	R4	R5
		157.5	105	85	85	

3. 各項目における評価

項目		説明	評価
有効性	指定事業の実施	協定書や仕様書に定められた取組ができたか。	B
	自主事業の実施	指定管理者の提案による利用者満足度向上等のための自主事業を実施できたか。	B
	利用者ニーズの把握	利用者のニーズを把握し、事業実施や新たな取組に生かすことができているか。	B
	目標の達成度	施設における目標の達成度はどうだったか。	B
効率性	施設の保守管理	施設の保守、破損等の修繕を適正に実施できたか。	A
	経費削減・環境配慮の取組	経費削減や環境配慮につながる取組を実施しているか。	A
	利用率向上の取組	利用者増や収入増につながる取組を実施しているか。	B
	接遇・サービス	利用者に対する接遇やサービスが良かったか。	A
適正性	法令遵守	施設の管理運営や設備点検などが、法令等に沿って適正に実施されているか。	適正
	施設の経営状況	指定管理を行っている事業者本体や施設における経営状況は適正であるか。	改善要
	危機管理	事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか。	適正
	履行状況	提案時及び年度当初の計画等とおりに業務を行ったか。	適正

評価の凡例 S・・・特に優れている。A・・・優れている。B・・・標準である。C・・・改善が必要である。

※適正性については、「適正」もしくは「改善要」のどちらかで評価する。

<評価する上で参考となるデータ、実績など>

コロナ禍で、積極的な誘客やイベントの実施が難しい中、月替わりの天守でのワークショップの実施等により、市民をはじめ近隣自治体からファミリー層を中心とした獲得を図るとともに、リピーターの獲得にもつなげることができた。

■尼崎天守アンケート (令和3年5月～令和4年3月実施分)

回答者1,504人 2回目以上の来城者数345人 (22.9%) 市内・阪神間・大阪府からの来城者数1,086人 (72.2%)

来城理由 1位「子ども連れでも来城しやすい」614人 2位「自宅から近い」442人 3位「交通・アクセスがいい」337人

4. 総評

成果	指定管理者の所見
コロナ禍において人々の生活様式の変化や行動が制限される中で、有料入城者の獲得を図るために、市民を含めた近隣のファミリー世帯をターゲットに月替わりのワークショップや謎解きイベント等を実施し、リピーター獲得にもつなげることができた。	コロナ禍において、遠方の客層は見込めないことからターゲットを近隣に変更して、口コミ・レポートにつながる接客、イベントに切り替え実施したのは、一定の効果は得たと考えられる。監査において自主事業の考え方の相違が露呈したため、これにおいては速やかに是正し、今後の運営につなげていく。
課題	今後の対策
新規の有料入城者及びリピーターの獲得を図るためには、来城者の満足度向上と情報発信が必要であり、ワークショップ以外の更新性のあるコンテンツの開発や、SNSやメディアを活用した情報発信等、戦略的に取り組んでいく必要がある。	指定管理者だけで取り組んでいくのではなく、あまがさき観光局をはじめ、事業者と連携することで、より効果的・効率的に有料入城者を獲得していく。